

■日時 平成26年8月20日(水) ■天候 晴れ

神戸市立楠高校 対 千葉県立市川工業高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 2回戦

■試合時間 2時間17分 ■備考

■審判 球審:浜田 塁審:伊藤 遠藤 渡辺

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
楠	兵庫	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9	3
市川工	千葉	0	0	1	2	1	0	0	0	×	4	10	1

楠		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	遊		石谷 涼平	4	1	1	0	四球	三飛	投飛				遊飛		中安
2	中		菅原 一輝	5	0	0	0	遊ゴ	一ゴ			三ゴ		右飛		投ゴ
3	投	左	山口 拓	3	1	1	0	四球		左安		遊飛				投ゴ
4		左	佐久間 翔太	0	0	0	0									
5	捕		萱野 登希也	4	0	2	1	中安		左安		三ゴ				中飛
6	一		西田 智哉	2	0	1	0	左安	投犠			左飛				四球
7	二		内海 大義	4	0	1	0	左2		右飛			三ゴ			二飛
8	三		末包 翔	4	0	0	0	遊ゴ		三振				捕邪		三ゴ
9	左		清瀬 克斗	2	0	1	0		左安		左邪					
9		投	細田 直	2	0	1	0							三振		左安
9	右		小松原 剣吾	4	0	1	0		捕ゴ		捕邪			右2		遊ゴ
合計				34	2	9	1	残塁:9 併殺:0								

備考

■バッテリー

投手
山口 拓
細田 直

捕手
萱野 登希也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
山口 拓	4	0/3	22	6	2	4
細田 直	4	19	4	6	1	0

市川工		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	遊		平 嘉貴	5	0	0	0	遊ゴ		三振	一飛		一邪			二飛
2	二		近 藤 真澄	5	2	4	0	二ゴ		中安		左安	左安			右安
3	投		馬場 有希	3	0	1	0	中飛		四球		四球	投安			中飛
4	捕		村松 正悟	3	0	1	0		右安	三邪		四球	投飛			死球
5	一		菅原 優人	5	1	1	0		右飛		右2	三振		投失		三振
6	中		相模 武	4	0	0	1		三振		三ゴ	投選		三振		
7	三		三橋 拓未	3	0	0	0		四球		捕邪	三振		投ゴ		
8	右		鈴木 優矢	4	1	1	0		右邪		右2	三振		投ゴ		
9	左		佐藤 寿大	4	0	2	1			投失	中2		三振			中安
合計				36	4	10	2	残塁:13 併殺:0								

備考

■バッテリー

投手
馬場 有希

捕手
村松 正悟

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
馬場 有希	9	38	9	2	3	2

■戦評

2回戦駒沢球場の第1試合は2年連続3回目出場の兵庫県代表・神戸市立楠高校と昨日神宮球場で行われた開幕試合をコールド勝ちした市川工業高校の対戦となった。楠は初回相手先発の立ち上がりを攻め4番萱野の適時安打などで2点を先制する。3回には無死から連打と犠打で一死二三塁の好機を迎えるが後続は打ち取られ追加点を奪えない。ピンチをしのいだ市川工業はその裏安打と四球で二塁に進んだ走者が暴投で一気に本塁を陥れ1点を返すと4回には8番鈴木木の適時二塁打など3本の二塁打で2点を上げ試合をひっくり返す。続く5回には安打と二つの四球で満塁の好機を作ると6番相模の投手前への打球が激しく回転しており野選となる幸運にも恵まれ1点を追加する。中盤から変化球が決まり出し立ち直った市川工業先発馬場は4回以降捕打線に三塁すら踏ませぬ好投を見せる。何とかしたい楠は9回2本の安打で二死ながら一二塁と最後の反撃を試みるも得点を奪うことができず4-2で市川工業が勝利しベスト8に進出した。一方敗れた楠は序盤の好機に追加点を奪えず試合の主導権を握れなかったのが痛かった。